



# すぎさん

<http://www.suginami->

令和3年 4月号  
杉並区立杉並第三小学校  
〒166-0003 杉並区高円寺南 1-15-13  
TEL 03-3314-1564  
FAX 03-3314-1449

## みんなで創る「わくわくする学校」

校長 森賀 慎一

みなさん、初めまして。この度、伝統ある杉並区立杉並第三小学校校長に着任いたしました森賀慎一と申します。私は杉並区で教員生活をスタートさせ、管理職としてこの杉並区に戻ってまいりました。

私は、子どものころから「学校はわくわくするところ」と思っていました。友だちや先生と会える、おいしい給食がある、休み時間にたくさん遊べる、勉強もそこそこ楽しい……。子どもたちにとって、学校がそんなわくわくする場所であってほしいなと願っています。

教員になってからは、子どもたちにとってのこの「わくわく感」はどうしたら生まれるのだろうと考えてきました。授業中の子どもたちは、新しいことを学ぶ喜びはあるようですが、毎時間わくわくしているようには見えませんでした。授業が終わって休み時間が始まる瞬間には、目を輝かせてまさに「わくわく」している姿を何度も見てきました。きっと私の授業が退屈でつまらないものだったこともあるのでしょうか、休み時間と何が違うのか、分析してみると授業に生かせるいくつかの視点が見えてきます。

まず、「自由」。誰と何をするかを指示されることなく、自由に決められます。何か面白いことがないかと考え、時には友だちと相談します。遊び始めると、遊び方のルールやチーム編成等、より楽しくなるように工夫していきます。また図書室で本を読もうと考えた子は、誰に気兼ねすることなく自分のペースで読書に没頭し、続きは借りて自宅で読もうと計画しています。

この「自由」は、今風に言うと「主体的」と言い換えることもできます。受け身ではなく自分からというのが「わくわく」につながっているように感じます。そして「友だちとの相談」は「協働」とも言えます。これら「主体的」や「協働的」という視点を授業に取り入れていくことで、子どもたちが

より意欲的に学習に取り組むというのが、学習指導要領の考え方です。

そしてある程度の範囲の中で、自分の学習課題を自由に選んだり決めたりし、自分のペースで友だちと協力しながら課題の解決に向かう学びのスタイルを杉並区では「学びの構造転換」と呼んでいます。本校では区の研究指定を受け、この「学びの構造転換」の考え方を生かした授業や子どもたちの学びを推進しています。

このように、子どもたちの「わくわく」に向け、教職員は授業を中心に試行錯誤を重ねています。その過程が教職員にとっての「わくわく」でもあります。では、それだけで「わくわくする学校」が完成するかというと、そうではないと考えます。私は、子どもたちや教職員だけでなく、保護者や地域の皆様にも「わくわく」していただきたいのです。

保護者の皆様にとっては、目の前の子どもが目を輝かせて「行ってきます」と家を出て、「楽しかった～」と帰宅することは大きな喜びだと思います。家でも同じようになるにはどうしたらよいか考えると、わくわくしてきませんか？叱ってばかりではきっとそうはならないだろうし・・・と、子育てと一緒に考えていただけると大変ありがたいです。

地域の皆様にとっては、町の中で元気に挨拶をする子どもたちが増えると、きっとこの子どもたちが大きくなってこの町を支えてくれるだろうなと考えるとわくわくしてきませんか？

力の合わせ方はこれから一緒に考えさせていただくとして、子どもたちを中心に、教職員・保護者・地域の方々みんなが「わくわく」する、そんな学校を創っていきたいというのが私の今の思いです。

至らぬことが多々あって、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。